

薩摩への道

(平成26年6月7日の歩き)

森永鉄美

「茂木街道は長崎・小島から茂木村に至る街道。茂木港から島原や天草、薩摩へと船便で結ばれていました。西郷隆盛、小松帯刀をはじめ、多くの薩摩藩士が歩いた道を、街道の面影を探してたどります。茂木についた後は地元の美味しいお刺身定食を食べます。一緒に街道を歩き、語りませんか？」

長崎国際観光コンベンション協会の「長崎さるく」の案内を見ました。

概要は 講師 NPO 法人 長崎の風 黒田雄彦氏

集合場所 正覚寺下電停

■ コース 高島秋帆旧宅跡→ピントコ坂→観音寺→転石→茂木漁港→潮見崎観音→昼食

■ 参加料 小学生以上 1,500円

■ 定員 15名 (最少催行人員5名)

■ 特徴 食事付/健脚コース

■ その他 水筒、雨具持参。

※ 街道歩きは約6kmの行程です。歩きやすい靴でお越しください。とのこと

おっ いいね。即決です。ネットで即申し込みました。

当日 7日の天気は晴、もちろん長崎まではバイク、相棒 PS クンと一緒に。

長崎から茂木までは歩きの半日、バイクは預けねばなりません。



その間のバイクお休み場所はここにしました。駐輪場は屋上です。

人馬一体^^ 人とバイクと一緒にエレベーターで上がります。

すこし込み合っていて一回待ちかなと思いましたがカブの兄ちゃん達が脇へ寄せてくれて我が PS クンのスペースを作って



くれました。

「お珍しいバイクですね」

「もう製造終了なんですよ」

短い時間でも バイク人の話
です。

屋上のバイク置き場、土曜日の
朝の時間帯で、いつもより少な
めです。後から来るバイクもあ
るでしょう。相棒 PS クンは隅

の方へ 控えめに置きました。

さて 本日の集合地は、長崎の繁華街 浜の町のちょい先、長崎電鉄 正覚寺下電停です。
ここで「長崎さるく」の参加受付をしてもらいました。ワッペンに領収書 そしてウエ
ットティッシュをもらいます。

申し込み数、受付人数を確認して出発です。最初はお寺さん。近くの正覚寺へ向かいま
す。

正覚寺は長崎で2番目に古い寺です。長崎になぜお寺さんが多いのか 最初の案内はお寺
さんの話でした。



古い寺は中国からの交
易船との関わりがあるとの
こと、中国から の交易
船の乗組員は出身地毎に
長崎に寺を建て、中国人
住職を 置き、長崎での拠
点とした とか。それに
あとになって キリスト
教禁令が出て、お寺さん
の新規造営も進められた
とか。

この近く 寺町一帯は各

宗派毎に14の寺が軒を連ねている お寺さんの町です。

今回の「薩摩への道」茂木街道を歩く」は 江戸時代の街道と一部明治初期の道を通るコ
ースでした。細い道 急な坂、脚力の衰え 実感です。参加のお姉さま おばさま達 元気で
す。今日の参加者は定員15名のところ 女性が12名です。

お寺さんを出て細道、茂木への道をたどります。



小さな分かれ道に来ました。

まっすぐ進むのが明治初期に開設された道、茂木は長崎在住の外人の避暑地でもあったとか、人力車を通す道だったそうです。我々が歩いたのは徒歩の道、古い道急坂の細道です。途中長崎ぶらぶら節の女主人公愛八さんの墓所へお参りします。



それに丸山の美人芸者の墓所傾城塚も・・・後世になってもこんなに墓参する人がいる。美人っていいですね。

ここらあたりは丸山に近い。西へ下るとすぐ丸山です。



ようやく上り坂も終わろうとして「これからは下りです」の声にホッとひと息です。



茂木街道こんな道を鬻の藩士達が往来していたのか、そんな思いをもって自分をパシャしました。

茂木は枇杷の産地、ビワ農家の傍らを通りです。いま収穫出荷の最盛期、ここで美味しいビワが安価で手に入るはず。自分で食べる分は規格外でいい、美味さにかわりはありません。

茂木の町へ入って「さつまや」

という店がありました。やっと今日のテーマ「薩



摩への道」らしき看板に出会いました。

案内の黒田先生は 歴史 旧跡に相当詳しいはずですが、ここの天 ぷらは天下逸品、この店のコロッケは長崎でも 1、2 とか、解説の中心を食べ物の話題へ振っていました。この菓子店でもそうです。長崎にある有名菓子店との関わりなど、話が面白い。さすがにベテランの案内人、今日の参加者は おばさま お姉さまが大多数、歴史より食べ物だと興味



味の中心をしっかりと把握されていたようです。

**長崎は猫が多い町、「長崎猫の会」があるほどです。
この町の猫ちゃんも しっかりポーズを決めていました。**



このお寺さんは玉台寺、由緒言われより、ここの銀杏の実の名物だとか もっぱらおばさま達受けする解説です。さらにしばし歩いて上りの階段へ。石段を上がってすぐ、小さなお堂です。玉台寺の別院、観音様が祀ってあるそうです。前



庭の一角に常夜灯？が。当時 灯台の役目もあったそうです。

遠く島原半島 天草を望みます。その先は 薩摩への海路です。我々の大先輩方がこの海を越えて、長崎と薩摩を行き来していたのです。

さあ お昼が近い。茂木港へ下ります こころの皆さん 気さくです。

ま 似たような年代の団体さんだったからでしょうか

今日のお昼は獲れたての新鮮刺身



のお昼、「長崎さるく」。いいイベントです。

食事のあと しばし懇談です。なにせ女性 12名に男性は 3名、おとなしくしていました。

3 時間ほどかけて歩いて来た茂木の 町、帰りはバスで 20 分でした。

今度の旧街道歩き、急坂が多かったせいか 自分の脚力低下を実感しました。これ以上の退化は許さ

れません。心して生活パターンを改善せねばなりません。

と決意新ただったのですが、このあとすぐ広島モミの木森林公園での「西日本きのこ交流会」参加にひっかけて野宿旅決行、そして翌月飛騨高山方面へ夜行バスツアー参加。いずれも旅を安くあげるのが第一の強行軍・・・そして帰宅後帯状疱疹発症、神経系にダメージ、左手機能半減以下、夏の遊びがパーでした。ドクターからは「年を考えろ」と言われ、反省でした。